

対象国の条件:

研修コース番号:(A)201984798-J002/(B)201984799-J002/(C)201984800-J002

案件番号:(A)201984798/(B)201984799/(C)201984800

主分野課題:環境管理/廃棄物管理

副分野課題:

使用言語:(A)英語/(B)英語/(C)ポルトガル語

案件概要

自国の廃棄物管理にかかる課題を明らかにしたうえで、日本の廃棄物行政や、企業、地域社会の取組みにかかる講義や視察を通して、循環型社会に向けて必要とされる施策に関するアクションプランを策定する。本研修は、廃棄物管理の中で、特に資源循環、3R、社会意識と住民参加に重点を置く。

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】

参加各国の廃棄物管理に関する課題が明らかにされ、各国における循環型社会の形成に向けた施策が提案される。

【成果】

1. 廃棄物管理に関する共通課題および各国の課題を明確化する。
2. 日本の行政(中央・地方自治体)における廃棄物管理の法体系やシステムを理解し、自国との相違を説明することができる。
3. 資源循環や3Rに関し、日本で採用されている技術・手法を理解し、自国での活用点を見出す。
4. 日本における自治体やコミュニティ、企業の活動を通じて、持続可能な社会づくりのノウハウを習得する。
5. 循環型社会の形成に向けて、必要とされる施策に関するアクションプラン案を策定する。

【対象組織】

廃棄物処理業務を行っている中央省庁、地方政府又はその関連機関および行政区で廃棄物管理に携わる民間組織

【対象人材】

<職位>
廃棄物処理業務を行っている中央省庁、地方政府又はその関連機関の行政官および行政区で廃棄物管理に携わる民間組織の職員
<職務経験>
実務に関して3年以上の経験、またはこれと同等の専門的知識を有すること
<その他>
将来も引き続き廃棄物処理に携わる者であること

内容

- 以下の内容の講義、視察、討論を行う。
- 1-1. インセプションレポートの発表及びディスカッション
 - 1-2. 各国の廃棄物管理の現状の整理と課題の抽出
 - 2-1. 日本の廃棄物管理政策、計画、法制度
 - 2-2. 自治体の廃棄物管理計画、財政、官民連携
 - 3-1. 減量化への取組み(3R)
 - 3-2. リサイクル(3R)
 - 3-3. 官民連携、民間企業の取組み
 - 4-1. 環境教育
 - 4-2. 社会意識の向上と住民参加
 5. アクションプラン案の作成

本邦研修期間

(A)2019/6/10~2019/7/6
(B)2019/10/21~2019/11/16
(C)2019/8/25~2019/10/19

担当課題部

地球環境部

所管国内機関

(A) JICA関西(業務一)
(B) JICA関西(業務一)
(C) JICA関西(業務一)

関係省庁

実施年度

2017~2019

主要協力機関

(A)NPO法人子ども環境活動支援協会(LEAF)/(B)NPO法人子ども環境活動支援協会(LEAF)/(C)公益財団法人京都市環境保全活動推進協会(KEAA)

特記事項
及び
ホームページ

研修時期、期間は要望数によって変動する可能性がある。